

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

| Platinum | Price | Date |
|----------|---------|------------|
| Open | 981.50 | 2022/11/21 |
| High | 1004.00 | 2022/11/24 |
| Low | 966.60 | 2022/11/21 |
| Close | 984.10 | 2022/11/25 |

円建て 円/グラム

| Platinum | Price | Date |
|----------|---------|------------|
| Open | 4429.50 | 2022/11/21 |
| High | 4554.00 | 2022/11/23 |
| Low | 4377.00 | 2022/11/25 |
| Close | 4400.00 | 2022/11/25 |

ドル建て ドル/TOZ

| Palladium | Price | Date |
|-----------|---------|------------|
| Open | 1938.00 | 2022/11/21 |
| High | 1947.00 | 2022/11/21 |
| Low | 1805.00 | 2022/11/25 |
| Close | 1856.00 | 2022/11/25 |

円建て 円/グラム

| Palladium | Price | Date |
|-----------|---------|------------|
| Open | 8741.00 | 2022/11/21 |
| High | 8777.00 | 2022/11/21 |
| Low | 8090.00 | 2022/11/25 |
| Close | 8303.00 | 2022/11/25 |



ニュースエクスプレス

プラチナ

ロシアの鉱山大手への制裁、メタル産業に及ぼす影響大

南アフリカの国営電力会社 Eskomは、老朽化の進む火力発電所の大規模な修復を行う間、今後半年から1年間は計画停電が大幅に増える可能性があるとして発表した。今年に入ってから既に述べて100日間以上の計画停電が行われ、計画停電が始められた2007年終わり以来、2022年は最悪の年となった。計画停電は主にPGM 加工設備に影響を及ぼし、鉱山採掘現場で加工待ちの材料の在庫が蓄積することになる。計画停電のため南アフリカの鉱山生産は打撃を受けて、9月の生産は前年比でマイナス4.5%となった。大手 PGM 鉱山会社3社では約3.1トンの未加工PGM材料が蓄積している。今後南アフリカの夏季と来年末まで計画停電が続けば、プラチナの精錬生産に影響が出ることが考えられ、2022年第3四半期から操業を停止しているポロクワネ溶鉱炉の在庫が市場に出る時期が遅れるかもしれない。しかし出荷される量が減ってもプラチナ市場には影響は出ないとみられており、プラチナの供給は2023年も余剰と見込まれている。

コロナ対策の規制緩和で中国の成長に注目

自動車、宝飾品、工業で使われるプラチナの最大の消費国である中国でコロナ対策の検査規制が緩和されたことは世界の需要にとって朗報かもしれない。中国のプラチナ需要は前年比で多少減って77.8トンとされるが、それでも西ヨーロッパ全体の2倍ほどある。習政権はゼロコロナ対策緩和の手始めとして新たに20項目の対策を発表したが、そのほとんどは影響の大きいロックダウンに関するものではなく感染検査に関するものだ。中国の10月の購買担当者景気指数(PMI)は再び50を割っており、製造業の生産が縮小していることを示している。昨今のコロナ対策の緩和は2023年にさらに緩和される可能性があり、プラチナ需要、特に自動車と工業の分野の需要成長につながるかもしれない。

パラジウム

古い自動車のスクラップが減り、パラジウムのリサイクル供給に新たな問題

世界のリサイクルによるパラジウム供給の80%以上は自動車触媒のリサイクルで、残りは捨てられた電子材や宝飾品のリサイクルによる。その自動車触媒のリサイクル供給の半分以上は米国から来ているが、2022年のスクラップ量はいくつかの要因が重なって予測を下回る結果となっている。10月までの米国の普通乗用車販売は1130万台で、昨年同時期の1270万台と比べるとマイナス11%。米国内のディーラーショップが抱える在庫車は過去最低水準となり、多くのディーラーショップは苦しい状況にある。新車が手に入らないため中古車の価格が高騰、消費者は持っている自家用車に長く乗るようになり、古い自動車の廃車率が下がって、自動車触媒からのPGMのリサイクル供給を押し下げている。

自動車生産のボトルネックは2023年には解消に向かうか

在庫でカバーできる日数は増えてきている。10月は前年比で35%好転したが、それでもまだ35日と低いままだ。米国の季節調整後の普通乗用車販売は先月、1月以来最高となった。来年の自動車生産は、依然半導体不足問題が来年半ばまで続く中でも、生産は少しずつ増えると予測される。ディーラーの在庫車も販売もこれで少しは増え、原則的には廃車率も回復するだろう。しかし市場に出回る中古車の数は限定的になる可能性もある。自動車生産と普通乗用車販売が2023年に回復すれば廃車が増えて、PGMのリサイクル供給は2022年に比べて増えるはずだが、米国経済が不景気になるリスクは高い。そうなれば、消費者需要が弱まって販売は不振となり、古い自動車が廃車されなくなる。実際自動車触媒からのパラジウムのリサイクルは、金融危機の時には4.5%、コロナ禍後の不景気には7.7%減っている。FEDは2023年の最初の2回の会議でも金利を上げるとみられており、そうなれば中古車市場には有利となるが新車販売は痛手を被る。金利が急激に上昇し、新車の平均価格が過去最高となっているため、自動車ローン返済額が月に1000ドル(約14万円)を超えることも珍しくなく、人々にとってはますます新車が買いにくくなっている。

来年の経済状況が悪化すればPGMのリサイクル供給は縮小

今年のパラジウム供給の約25%(約84.0トン)はリサイクルによるものとされる。現時点で2023年のパラジウム市場は、2022年の供給不足から転じて、15.6トン以上の余剰になると予測されている。余剰となるのは溶鉱炉のメンテナンスが遅れたことで蓄積された在庫があるためとされる。リサイクル供給が減少すればこの余剰が減るが、景気後退局面ではそれでも価格に下落圧力がかかる可能性もある。

https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20221121.pdf#msdyntrid=ERRYse1hEofyAP-9RxJzd7rdkEC3BAdUBasKbdANX6Y

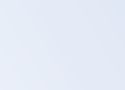
Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- 11月22日、WPICはロンドンに於いて2023年の見通しと22年の第3四半期の説明会が開催されました。2022年第3四半期の供給は鉱山供給の問題と廃車数の減少で総供給量は前年比マイナス12%。リサイクルについては廃車体と宝飾品の新旧交換が減り、前年比マイナス13%。一方で、需要に関しては投資需要と自動車や工業需要により前年比プラス12%となった。詳しくは「プラチナ四半期レポート プレゼンテーション」をご覧ください。 <https://platinuminvestment.com/supply-and-demand/platinum-quarterly>

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。



@wpicjapan